

理解と思いやりが「平和」の第一歩

11/30 安曇野市戦没者追悼式・平和と人権のつどい

戦没者の冥福を祈るとともに、平和と人権を守る意識を高める機会として「戦没者追悼式並びに平和と人権のつどい」が豊科公民館で開かれました。当日は、戦没者の遺族をはじめとした参加者約400人が黙とうを捧げ、平和と人権の集いでは中学生の作文発表などから、命や平和への思いを新たにしました。

市では、平成24年12月に「安曇野市平和都市宣言」を制定し、身近なところにある不安や争いをなくし、平和な社会を築いていこうという決意を宣言しました。また、市内中学生代表28人を毎年8月6日の広島平和記念式典に派遣しています。



中学生による安曇野市平和都市宣言の朗読



戦没者を悼み平和を誓う 南安曇農業高校ボランティア部が運営協力

この式典に参加し、体験作文を発表した東原柗平さん（豊科南中3年）は、「周りの人を理解し、思いやりを持った生活を心掛けることで、自分の周りを平和にしていくことから始めようと思いました。それも平和の第一歩だと思います」と思いを語りました。生徒たちの作文は市図書館等で閲覧できます。



全国中学生人権作文コンテスト松本地区区入選者

安曇野市制施行15周年記念 第6回信州安曇野ハーフマラソン開催



大会概要

- 日時 6月7日(日)
- スタート・フィニッシュ会場 豊科南部総合公園
- ハーフマラソンの部 (21.0975*₀) 制限時間3時間 午前9時スタート
- ファミリーランの部 (2*₀) 制限時間20分 午前9時15分スタート

ランナー募集

ハーフマラソンの部 (一般男子・一般女子)

- 参加資格 大会当日18歳以上 制限時間(3時間)内に完走できる人
- 参加料 6,000円(税込)
- 定員 5,200人(市民枠500人)・先着順

ファミリーランの部

- 参加資格 大会当日18歳以上の人と小学生のペア 制限時間(20分)内に完走できる人 ※小学生のみ1人まで追加申し込み可能(合計で3人)
- 参加料 3,500円(税込) ※3人1組の場合は4,500円(税込)
- 定員 300組600人・先着順

申込方法

- 申し込み 1月11日(土)～3月13日(金)に次の方法で申し込みください。
 - ①ランネット(インターネット) [ランネット](#) [検索](#)
 - ②郵便振替用紙(募集要項に添付)にて、ゆうちょ銀行または、郵便局窓口で申し込み 募集要項は12月27日(金)以降に観光交流促進課(3階1番窓口)および各支所地域課で入手可
- 問い合わせ 信州安曇野ハーフマラソン実行委員会事務局(観光交流促進課内)TEL72・2239 TEL72・1340
- その他 コースが一部変更になります。詳細は、大会公式HPを確認ください。

[信州安曇野ハーフマラソン](#) [検索](#)

凡例 日日時 期期間 場場所 内内容 対対象 講講師 費費用 定定員 持持ち物 申申し込み 提提出先 他その他 問問い合わせ 休休館日

※特に記載のない場合、申込時間は開館(開庁)日の午前9時から午後5時まで。入館料等詳細は各施設まで。

1月の図書館イベント

生涯学習

0歳から99歳まで

文化課文化振興担当
TEL71・2463 FAX71・2338

小さな子どもと家族が楽しめるミニコンサートを開催します。

1月15日(水)

午前11時～11時30分

(受付 午前10時30分)

豊科公民館講堂

出演者

丸山千史さん(声楽)

佐々木美津子さん(ピアノ)

費大人のみ1人100円

定120人(先着順)



図書館

中央図書館

TEL84・0111 FAX84・0116

毎年大人気!新年「本のお年玉」

図書館職員が選んだおすすめ本2冊を、中身が見えないように包んだ「本のお年玉」を貸し出します。中身のテーマ・対象年齢が分かるようメッセージカードを付けてあり、お好みのものを選びます。

1月5日(日)

セット数(大人用と子ども用)

▽中央図書館 100セット

▽豊科図書館 50セット

▽三郷・堀金・明科図書館 各30セット

※1人1セット限定、用意したセットがなくなり次第終了

明科図書館

TEL62・1122 FAX62・1124

冬の上映会

12月27日(金) 午前10時～11時

豊科子どもと大人の交流学習施設

設「ひまわり」2階ハーモニ

ホール

『人形劇 ヘンゼルとグレーテ

ル』(2002年・日本・46分)

乳幼児、小学生以上(未就学児

は保護者同伴)

費無料 定60人 申不要

◇年末年始休業日◇
広報あづみの303号3ページ、主な施設の年末年始の休業日について、夜間急病センターは29日(日)、5日(日)は定休日となりますのでご注意ください。

おすすめの1冊 『海の物語』

灰谷 健次郎/著



紹介する人
あきと 安里 遥人さん (明科)

私のおすすめの本は『海の物語』です。この本は、汚染や埋め立て、乱獲によって壊されつつある海に寄り添って暮らす人々が描かれています。主人公は、腕利き漁師の父親と二人暮らしの少年、健太です。彼は、都会からの転校生、可南子や担任の紀子先生、そしていろいろな人々と出会う中で、海の素晴らしさ、崇高さに気づいていきます。私が好きな場面は、正木のオッサンの所へ行く場面です。そこでオッサンが「日本の漁業なんてのはもうない。あるのは企業だけで、金を儲ける気持ちだけが先に引っ走る」と言っています。私はこの文章を読んで、健太の父親のように、海を大切に生きていく人々と金儲けのために乱獲をして海を荒らしていく企業に、今の日本の姿を重ね、いろいろなことを考えさせられました。皆さんもぜひこの本を読んで、海の素晴らしさ、海を大切に生きていく人たちの気持ちを感ずってほしい。